

町議会とあなたを結ぶ

# 議会だより

# しらおい、180

定例会5・6月会議号

2022年7月31日発行



はくおうバレーボールクラブ  
(中学生バレーボールクラブチーム【白桜VC】発足)



議会だより  
(町ホームページ)



議会フェイスブック

- P 2 議会のうごき / 定例会9月会議予定
- P 3~11 定例会6月会議 9人の議員が一般質問
- P 12~13 委員会報告 (産業厚生・広報広聴)
- P 14 定例会報告 / 編集後記

北海道にある、元気まち



しらおい

# ～ 令和4年 定例会6月会議 一般質問 ～

<b>西田祐子議員</b> 3ページ ① 白老町男女共同参画計画「あいプラン」について	<b>佐藤雄大議員</b> 8ページ ① これからのまちづくりについて
<b>前田博之議員</b> 4ページ ① 地域経済、地場産業の状況と振興について ② 地方公共団体事務における郵便局への包括委託と出張所業務について	<b>森哲也議員</b> 9ページ ① 住宅に関する施策及び今後の在り方について ② コロナ禍における原油価格・物価高騰対策について
<b>大淵紀夫議員</b> 5ページ ① 介護保険制度について ② 町財政について	<b>氏家裕治議員</b> 10ページ ① 持続可能なまちづくりについて
<b>久保一美議員</b> 6ページ ① 人口減少を見据えたまちづくりについて	<b>広地紀彰議員</b> 11ページ ① 財政の押さえと町民要望を叶える事業化について
<b>長谷川かおり議員</b> 7ページ ① 子育て支援について ② 町における就学支援等の取組について	* 質問時間は1人45分以内 (答弁の時間を含まない) * 一問一答方式 (時間内で何度でも再質問が可能)

## 【議案のスケジュール】

### ■定例会・委員会等

#### 【4月】

12日 広報広聴小委員会  
政策研究会

13日 総務文教分科会

21日 議会運営委員会  
全員協議会

25日 議会運営委員会  
全員協議会

26日 産業厚生常任委員会  
産業厚生常任委員会協議会

27日 政策研究会

【5月】

13日 議会運営委員会

16日 広報広聴常任委員会

17日 政策研究会

18日 産業厚生常任委員会

19日 産業厚生分科会

24日 総務文教常任委員会  
総務文教常任委員会協議会

27日 議会運営委員会

31日 議会運営委員会  
政策研究会

【6月】

9日 議会運営委員会

15日 広報広聴小委員会

17日 政策研究会

21日 議会運営委員会

23日 議会運営委員会

24日 定例会6月会議

24日 全員協議会

24日 議会運営委員会

24日 議会運営委員会

24日 議会運営委員会

24日 議会運営委員会

24日 議会運営委員会

24日 議会運営委員会

## 定例会9月会議の予定

(日程は変更になることがあります)

### ■日時 (いずれの日も10時から)

9月 2日 (金) 議案説明会	9月 12日 (月) 本会議 (予備日)
9月 6日 (火) 本会議 (一般質問)	9月 13日 (火) 決算審査特別委員会
9月 7日 (水) 本会議 (一般質問)	9月 14日 (水) 決算審査特別委員会
9月 8日 (木) 本会議 (一般質問)	9月 15日 (木) 決算審査特別委員会
9月 9日 (金) 本会議 (一般質問・一般議案)	9月 16日 (金) 本会議 (一般議案・決算審査)

### ■会場 議会議事堂 (役場2階)

※感染症拡大防止のため、傍聴は自粛をお願いしています。

インターネットで議会中継を配信していますので、ご利用ください。

### ■問い合わせ 議会事務局 Tel 82-6620

## 問 役場関係機関の 女性役員や管理職の割合は

## 答 役場が率先して 背中を見せることも重要



西田 祐子議員

問 固定的性別役割分担意識や社会的性別偏見の解消は

町長 昔ながらの「男は仕事、女は家庭」の風習は根強く残っているものの、若い世代を中心に徐々に解消されており、子育てをしながら働き続けられる環境づくりや、男性の育児休暇の取得率向上などが課題である。

問 国の男女共同参画会議の有識者12名中7名、連携会議115名中72名が女性である。

白老町男女共同参画推進懇話会も女性を多くするべき

答弁 残念ながら今回はできなかったが、改選の際には女性が半数以上になるようにしたい。

問 子育て中の女性の社会参加のための学習機会と、介護などの研修に参加しやすいように、無料の託児サービス、講習会の会費、受験料、交通費等を町が負担できないか

答弁 女性の社会参加の観点からも、無料の託児サービスなど

経済的支援を行う必要もある。

介護人材不足は全事業所の共通の課題で、訪問ヘルパーの人材不足はより深刻な状況。令和4年度より白老町介護人材育成支援事業補助金制度を創設し、補助金により研修を受けられるような形を取っている。今年度の実績を踏まえ、助成制度の在り方について検討し、来年度の予算に反映させたい。



長年助け合い、お店を続けてこられたご夫婦

問 役場の関係機関である団体の女性役員や管理職の割合と、これらの組織は「あいプラン」の計画目標に叶っているか

答弁 女性管理職は商工会、観光協会ゼロ名、社協2名で40%、役員は各団体1名となっている。良い方向に進めるには、役場が女性の登用を率先して背中を見せることも重要と捉えている。

問 役場職員の女性管理職の数と目標数値、役場は女性管理職登用を積極的に進めるべき

副町長 役場職員の管理職39名中女性は7名で17・9%。「あいプラン」目標値の30%には達していない。

11月頃に「女性職員のキャリアアップ研修」を開催予定。この状況から脱却を図りたい。

問 一次産業や職場への施策と課題は

町長 人口減少の点からも女性の社会進出は地域を活性化していくうえで重要と捉えている。



前田博之議員

## 問 地元商品購買力の 町外流出額と流出率は

### 答 地元外流出額は135億円 流出率は68%になっている

問 理事者は「地域経済の縮小、疲弊感が非常に大きな問題である」と答弁。地元商品販売額と購買力の町外流出額とその率は

町長 平成28年度の町内卸売業と小売業販売額は197億6千万円。町外への流出額は134億9千万円で流出率は68・27%。

問 沿岸漁業は苦境に追い込まれているが、秋サケの生産高は  
答弁 秋サケは平成29年と令和3年の比較で漁獲量517トン減、金額で4億5千万円の減。

問 将来的な町の産業経済の持続可能性や展開を図るために財政資源を投資すべきである。町民に負担を強いている超過課税(固定資産税・法人町民税)は年間2億5千万円から3億円を徴収している。この税金を財源の裏付けにして、町の産業経済の将来のために投資すべきでは

副町長 今の産業経済の対策も踏まえて、しっかりとした投資の形はつくっていききたい。



令和4年3月末で閉鎖したハリマ化成(株)北海道工場

問 地域経済の自立度を示すものとして「地域経済循環率」が着目されているが、白老町の域内経済循環率は何%になっているか

また、地域経済循環率の値が低いほど他地域への依存度が高いことになる。地域経済循環率分析を行い経済政策に反映すべきでは

答弁 平成27年で83・3%。  
副町長 地域経済循環率分析とともに議論をして政策を組み立て、方向性を決めていきたい。

## 問 出張所を今年4月廃止 するとしていたが

### 答 貸館業務の整理が できなかつた

問 町長は令和3年3月議会で出張所窓口業務を町内3か所の郵便局に業務委託するので出張所を廃止するとしていた。

郵便局と令和3年8月に委託契約を締結し、同年10月から業務を開始しているにもかかわらず、今年の4月以降も出張所は業務を継続している。廃止するまで1年間の準備期間があったにもかかわらず、なぜ出張所を廃止することができなかったのか  
町長 出張所で行っている全ての窓口業務を郵便局に委託した後、今年3月に3か所の出張所を廃止する予定にあった。平日の公民館における貸館業務の整理ができなかつたため、廃止時期が遅れている。

**問** 介護保険の問題点は



大淵紀夫議員

**答** 高齢者の負担感増加と捉えている

**問** 介護保険料の収納状況と制度利用状況は

**町長** 令和3年度は96・35%で上昇傾向にある。利用率は全体で77%であり、過去3か年度ほぼ同水準となっている。

**問** 介護保険制度での国の負担割合に対する町民負担の捉えは

**町長** 保険料の上昇やサービス利用時の自己負担額増額など、高齢者の負担は年々増加している。負担感が増していると捉えている。持続可能な制度とするために国の負担の見直しについて強く要望していく。

**問** 介護職員養成研修事業のこれまでの研修修了者数と就職者数、事業全体の分析と評価は

**町長** 平成6年度から令和3年度までの修了者は1241名で、令和3年9月時点の町内福祉関係就労者は45名となっている。

介護職員養成研修は、介護職を志す方のために不可欠であり、家族の介護を目的とする方、ボ

ランティア活動をされる方など福祉人材のすそ野を広げるためにも必要な取組と捉えている。

**問** 認知症の方への町の支援策として、賠償責任保険の創設とケアラー条例を制定すべきでは

**町長** 個人賠償責任保険は支援策の一つとして認識している。

ケアラー条例については、関係課によるワーキンググループで実態把握、支援策の協議を経て条例制定に取り組んでいく。



介護職員養成研修の様子  
(社)白老町社会福祉協議会)

**問** 基金の残高は

**答** 26億7200万円

である

**問** 令和3年度の決算見通しと基金及び起債の残高は

**町長** 一般会計は3億1093万円の黒字となり、各特別会計、企業会計も赤字の発生はない。基金残高は26億7200万円、起債残高は9億1374万円である。

**問** 5年後の財政見通しに立つて、町税、交付税、各交付金、ふるさと納税の推移は

**町長** 町税、交付税は、人口減少などの影響により共に減少していくものと捉えている。

各交付金に大きな変動はなく、ふるさと納税では今年度から旅先納税を導入するなど制度の趣旨に則った取組により、寄付額の確保に努めていく。

**問** 地域の特徴を生かした  
まちづくりの青写真は

**答** 各地域の特徴に応じた  
まちづくりを進める



久保一美議員

**問** 社台から虎杖浜まで、地域の特徴を生かしたまちづくりの青写真はできているか

**答弁** 社台地区では、美しい自然環境や原風景を守りつつ多様な交流を促す地域づくり、虎杖浜では、海や温泉を活用し観光レクリエーションによる個性ある地域づくりなど、各地域の特徴に応じたまちづくりを進める。

**問** 夕張市では、住民の合意を得て町なかへの集約を行っているが、町の考えは

**答弁** 各地域の生活圏を尊重しながらも、一定程度集約を図っていく必要がある。

**問** 北海道が策定した北海道自然環境保全指針において、町内でも身近な自然地域が選定されているが、観光スポットとして活用し、周遊性を高めることが必要ではないか

**答弁** モデルコースも含め、情報発信することが大事になってくると思う。

**問** 地元の宿泊や日帰り観光客の底上げのため、マイクロツーリズムの推進の必要性は

**答弁** 「ウエルカムしらおいキャンペーン」では、5700人の宿泊客、そのうち数%は町民利用。今年度もこのキャンペーンを実施したい。

**問** リピート率を上げるための知恵が大切であり、観光振興こそが人口減少の歯止めの一助になると思うが



ホロケナシ駐車公園げんきまち情報館

**副町長** ウポポイ職員、観光協会職員、町関係職員で協議会をつくり、アイデアを出しながら観光振興に取り組んでいきたい。

**問** 商業施設も含めた一般家庭用の太陽光発電の普及の考えは

**答弁** 町として導入を推進するため、検討しなければならない。

**問** 社台地区の一時避難所は、スロープも階段もなく、高齢者には上がるのが困難と思うが

**答弁** 町内会や自主防災組織と相談しながら、整備も続けていかなければならない。

**問** 人口減少を見据えたまちづくりについて、様々な分野を同時に進め、少しずつ変えながら「やり切る信念」が一番大事ではないか

**副町長** 観光振興、町の景観を守ること、防災対策、健康福祉、教育文化などの事業展開が必要と改めて感じている。人口減少を抑制しながら、しっかりとまちづくりに取り組んでいきたい。

**問** 困難を抱える家庭への  
幅広い支援整備は

**答** ヤングケアラー含む  
支援体制整備を進める



長谷川かおり議員

**問** 家事・育児の不安を支える子育て家庭などをヘルパー等が訪問しサポートする国の事業が始まっているが、取組状況は

**町長** 類似事業であるファミリーサポートセンター事業をNPO法人お助けネットに委託し、託児や送迎のほか、満1歳未満の産後サポート、満3歳未満の多胎児支援として掃除、洗濯、調理等の家事支援を行っている。

また、病児・病後児保育の代替として病気の子供を預かるサービスを実施し、働く親の支援と経済的負担の軽減を図っている。

**問** 困難を抱える家庭への幅広い支援整備は

**町長** ヤングケアラーを含めたケアラー支援のための取組を開始しており、今後は実態把握を行い、支援を必要としているヤングケアラーの早期発見や適切な支援につなげるため、支援体制の整備を進めていく。

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている  
家族に代わり、おんぶやおんぶの世話をしている  
障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている  
目を離せない家族の見守りやかけがえのない家族のために通訳をしている  
日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族の入居やトイレの介助をしている



障がいや病気のある家族の身元守りや見守りをして  
障がいや病気のある家族の身元守りや見守りをして  
障がいや病気のある家族の身元守りや見守りをして  
障がいや病気のある家族の身元守りや見守りをして  
障がいや病気のある家族の身元守りや見守りをして

©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration: Itami Shiga

**問** 実態把握の具体的な取組は

**答弁** 道では小学5、6年生を対象に行うが、町独自の取組は今後検討する。

**問** 学校現場での取組は

**答弁** 教職員の研修や児童生徒対象のアセスメントシートを活用し、支援につなげていく。

**問** 様々な困難を抱える家庭に幅広い支援が必要と考えるが

**答弁** 現在行われている事業の整理や要件をクリアする中で活用の必要性を検討していく。

**問** 学校のトイレに  
生理用品を

**答** 学校と協議し設置

**問** 高校進学時のタブレット購入助成について

**町長** 現時点で購入助成は難しいが、道立高校においては貸与する支援を行っており、制度の周知を図っていく。

**問** 通学定期券の助成について

**町長** 家計の負担を軽減することとは必要と認識しているが、一律的に支援するのは難しい状況。

**問** コロナ禍で浮かび上がった生理用品の公平の実現のために学校のトイレへの生理用品設置の考えは

**町長** 管理や衛生上の課題はあるが、誰でも気兼ねなく自由に使用できるメリットもある。

**答弁** 学校と協議し二学期中には設置したい。

## 問 未来を見据えたまちづくりの展望は



佐藤雄大議員

## 答 まずはこの町に住んでよかったと思えるまちづくりを

問 町税の今後の見通しは

町長 今後の見通しについては、人口減少により特に個人町民税において影響が大きくなるものと捉えている。

問 基金（まちの貯金）は、町の各目標と連動した目標額を設定すべきであるが

答弁 目標額は設定していない。今後どういった事業を展開していくかで基金を積み立てていくことが重要だと考える。

問 ふるさと納税での政策の重点化と今後増収した場合に町民へ還元すべきだが

答弁 各分野に活用していきたいが、現状、指定寄付が増加傾向のため、重点化は必要であると捉えている。また、寄付者の想いも踏まえて町民に還元していきたい。

問 役場庁舎建設の複合化の考えは

答弁 現在3か所に分散されている役場機能を統合し一元化する

るほか、役場庁舎に図書館を併設する構想がある。町民アンケートを実施中で、町民の意見も踏まえて議論を進めていきたい。

問 年少人口が目標値より下回っている。年少人口、子育て世代の増加策が必要であることは明確だと考えるが

答弁 若者定着プロジェクト等の施策では、現状は成果が上がっていないため、課題として捉えている。



パパSUNデイ!! 萩の里自然公園散策の様子

問 今後のまちの展望が見えていなければ具体的な議論ができない。未来のまちづくりにもっと目を向けて、町民の皆様が希望を感じる展望を示し、理事者が、今必要なことを明確にして資金、人材を投資していくべきだと考える。未来を見据えたまちづくりについて具体的な展望は

町長 展望については8年間の総合計画に示しており、計画に沿って進めていきたい。政策を重点化していくことは同意見だが、白老町のポテンシャルはたくさんあるため重点化して絞っていくのは難しい状況である。人口減少を見据えて子育て世代、教育、福祉に予算付けして将来の展望を図っていきたくと考えている。具体的には明言することができないが、まずはこの町に住んでいてよかったと思えるまちづくりをしていくことが重要であると考えている。



## 問 町営住宅の今後のあり方の考えは



森 哲也議員

## 答 住民のニーズに沿った町営住宅を整備していく

問 町営・町有住宅の空き戸数及び待機者の状況は

町長 住宅管理戸数は1007戸あり、空き戸数は町営住宅が325戸、町有住宅は4戸ある。待機者の状況は、町営住宅が19戸、町有住宅が1戸となっている。

問 空き戸数は多数あるが、待機者が複数いる状況の要因は

答弁 住宅の損傷が著しく、高額な修繕費を要する住戸であることなどが要因となっている。

問 待機者解消に向けた具体的な取組や考えは

答弁 今年度は6戸の大幅修繕の予算を確保している。早急に修繕を行い、待機者の解消に繋がられると考えている。

問 西団地や緑ヶ丘団地の建て替え計画が予定より遅れているが、全て空き家になっている棟もあるので解体は計画どおりに実施するべきでは

答弁 令和4年度から解体予定だったが未実施である。今後、計画の見直しに合わせて実施を考えていく。

問 町営住宅は老朽化など様々な課題がある。町長が考える町営住宅の今後の在り方は

町長 住民が住みやすい環境にすることが大前提である。

住民のニーズに沿った町営住宅を整備していく考えである。

## 問 物価高騰対策の考えは

答 スピーディーな検討及び事業展開を図る

問 物価高騰による学校給食への影響は

町長 6月現在で原材料費の上昇率が高いものは少なく、物価高騰による大きな影響はないと捉えている。

問 物価の高騰から町民の生活及び事業者を守る対策の考えは

町長 原油価格・物価高騰について、町民一人ひとりの生活や事業者の経済活動に大きな影響を及ぼしていると認識している。

町民及び事業者の目線に立った支援を効果的に進めるため、スピーディーな検討及び事業展開を図る考えである。



建て替えが予定されている西団地

## 問 屋根付き岸壁の必要性は

## 答 国の補助メニューも増え 状況を把握した中で進めたい



氏家裕治議員

問 持続可能な水産業に必要な施策について、高齢化社会の中においても、安心・安全な労働環境整備の考え方は

町長 漁業者の高齢化が進んでいることは承知しており、その労働環境改善が必要であると認識している。

漁港区は供用開始から35年が経過し老朽化が進んでいる。現在、町単独で部分的な補修を行っているが、今後も漁業関係者の意向を確認し、必要な整備について国に相談していく。

問 漁業を志す若い人材が育っている一方で、労働力として下支えしている方の多くは女性や高齢者であり、極寒の港での作業は過酷である。また、近年は海水温の影響からか魚種の移り変わりにより、出荷に伴う品質管理・衛生管理等に注意が必要となっている。今後の振興策、支援策としても屋根付き岸壁が必要ではないか



港での作業の様子

町長 虎杖浜の方々が使用している登別漁港には屋根付き岸壁が整備され、環境は整っている。数年前から屋根付き岸壁の補助メニューも増え、きちんと状況を把握した中で進めていきたい。

町長 本町における光ファイバー網によるインターネット整備は、昨年度実施した虎杖浜臨海区地区の工事完了により世帯カバー率で99%を超え、5月末現在での加入率は42・6%となっており、整備開始時の目標値40%を達成している。

人口減少化において既存の企業の存続と若者の移住・定住にインターネット環境が重要であることは認識しているが、高速道路より北側の地域については、整備時に利用見込み数が少なく費用対効果が低いと判断し、計画に含んでいない。

しかし、ICTの進展により当時とは通信環境が大きく変化していることから、対象地域の企業、個人等に対するヒアリングやアンケート調査を早急に実施し、現状把握に努める。



広地紀彰議員

**問** 子育てしやすさの象徴として  
公園整備を進めるべき

**答** アンケートを実施し町民、  
子供の声を聴き、進めたい

**問** 足元の財政構造を見ながら、町民の願いを叶える事業のあり方を議論する。

**答** 令和3年度決算は、決算剰余金約3億に基金の純増額約4億9千万円を加えた約8億円が実質的な黒字と考えてよいか

**答** 表現が難しい面もあるが、実質的な黒字額が8億円弱という見方はできる。

**問** 様々な要因で生じた財政の余裕を、基金造成を行いつつ課題解決と住民要望実現、事業者支援へ振り向ける仕組みが重要な局面ではないか

**答** 令和4年度に107億円という大きな予算が組めたように、基金積み立てを翌年度に繰り入れていくことで、事業化を行っていく考えである。

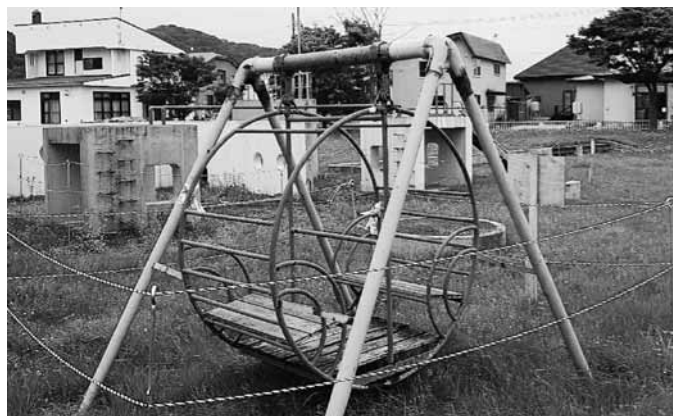
**問** 令和4年度の事業執行について、「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」が関係閣僚会議で打ち出され、原油価格高騰が直撃する業種（農林、水産、運輸、

生活衛生）への国の支援方針と関連して補助金が交付されたと承知しているが、町の対策は

**答** 1億円が追加交付されているが、7月中を目途に幅広い視野をもって事業化を進めたい。

**問** 先日、竹浦コミセンを除草したが、施設維持をもっと地域や町民を巻き込んだ協働の取り組みにできないか

**答** 施設の在り方も含め、地域の方の考えを伺って進めたい。



整備が急がれる公園設備

**問** 公園施設は、総合計画にある人口抑制重点プロジェクトの一翼を担うものである。子育てしやすさの象徴として、公園整備を進めるべきではないか。

**答** また、整備に際し子供たちの声を聴くことができないか。子供の思いを受け止めて一つでも希望を見いだせるのではないか。

**副町長** 令和2年度に調査を行っているが、再度アンケート調査を実施し、町民、子供の声を聴きながら進めたい。

**問** 充実施策として道路整備へ予算措置されている。虎杖浜の旧金融機関前の歩道脇のガードレールがボロボロになっていることを地域住民から伺い、担当課も対応されているが、特に子供たちが通う通学路も重要な整備、補修の重点と考えるが

**答** 通学路は児童生徒の安全の観点からも、優先度を上げて維持管理に努めていく。

## 委員会レポート

各常任委員会は所管事務調査を行い、その結果を定例会6月会議で報告した。

### 産業厚生常任委員会

#### (1) 産業厚生常任委員会 【漁業の振興策】

近年の漁獲模様の変化に対応するため、漁獲対策として取り組まれているサメ捕獲後の利活用や、漁獲実績がみられるブリの流通対策など、漁獲模様の変化を捉えた流通・商品開発を支援する必要があると考える。

また、ウニ等の漁獲が堅調な栽培漁業のブランド化など時流を捉えた施策を打つべきである。

さらに、「バイローカル」などを念頭に漁業者と商工事業者の連携を進める仕組みの構築を行政として進めるべきと考える。

地方創生臨時交付金の活用により、従前と比較しよりきめ細やかな給付支援を行う姿勢に対しては評価できるが、岸壁狭隘化などの既存の課題解決にも取り組みつつ、より実態に即した施策展開が必要と考える。

#### 【商業観光の振興策】

交付金を活用した「しらおい満喫割」事業は、宿泊利用者が5700人を超え、令和3年度の年間町内宿泊者の約1割の需要喚起を生み出しており、事業効果や予算執行率の高さをみても評価できるものである。

一方、コロナ禍に加え世界情勢や為替相場の影響を受け、燃料費や海産物を中心とした食材費の高騰が顕著であることも踏まえた施策の早期立案・実行が求められると考える。

また、コロナ禍被害支援制度の利用を促進できるよう、ネット申請サポート窓口の開設などの仕組みを整えるべきである。

#### 【交流人口周遊の仕組み構築】

ウポポイ来訪客の町内周遊や駅南北の周遊を促進し、ウポポイ開設の効果を町内全域で感じられるような展開が必要である。

最後に、以上のような施策を打つにあたり、より丁寧な実態調査による課題把握と分析が重要と捉える。その際、SNSの活用や、特に若い世代に寄り添ったアンケートを実施してはという意見も提出された。

北海道内5位となった交流人口の効果を最大化すべく、登別市で整備が進む観光インフォメーションセンターなど近隣関連施設との連携強化を図りつつ、白老の魅力発信と創造にまい進されることを望む。

#### (2) 産業厚生分科会

#### 【いぶり中央漁業協同組合虎杖浜青年部・女性部との懇談】

白老町は太平洋に面しており、漁業が盛んな町としての歴史がある。種類も豊富に水揚げされ

ており、魚介類は白老の宝ともいえる。しかし、近年は海水温の上昇等による漁獲量の減少や人口減少の影響による担い手不足の状況もあり、魚類の安定供給に課題を抱えている。このような状況下で、実際に漁業に携わる現場の声を聴き、実態把握だけでなく意見や要望も聞くことができ、政策議論を深めていく上で大変貴重な懇談であった。



いぶり中央漁業協同組合虎杖浜青年部・女性部との懇談の様子

# 広報広聴常任委員会

## (1) 常任委員会

### 【議会報告会の実施（動画配信）】

令和3年の活動内容を議会全般、議会運営委員会、総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会、広報広聴常任委員会、政策研究会が活動内容をまとめ報告した。報告では、委員会活動などの議会の動きのほか、町民との意見交換や懇談の様子を写真で紹介するなど簡潔に紹介している。



議会全般について報告する  
松田議長と氏家副議長

## (2) 小委員会

### 【議会報告会の企画及び運営】

議会報告会の動画配信準備、撮影、編集を行った。

### 【議会広報広聴活動の充実】

議会の広報広聴活動の改革を進めるに当たり、「議会だより・議会中継・議会ホームページ」についてアンケート調査を行った。

議会だよりにアンケート用QRコードを掲載したほか、町内会長や各団体、事業所などにもアンケートへの協力を依頼した。

また、議会ホームページ及びフェイスブックの内容の充実を図り、更新回数を増やすなど、情報の発信に努め、町民にとってより身近な議会となるよう広報活動の充実について確認した。

### 【議会広報の編集・発行】

議会だより第179号の編集・発行を行った。

## 北海道町村議会議長会 議員研修会



7月6日(水) 札幌市コンベンションセンターで行われた議員研修会に出席しました。

## 青森県つがる市議会表敬訪問



5月23日(月) 本町への行政視察に合わせて、つがる市長・つがる市議会17名が来訪されました。

## 北海道町村議会議長会 自治功労者表彰

永年にわたり議員を務め、地方自治の振興発展に貢献した功績が認められたものです。

小西秀延議員  
(議員歴 15年)



# 定例会5月・6月会議報告

（議決結果をお知らせします）

## 予算

- ◎定例会5月会議
- ▼一般会計補正予算（第1号）
- ◎定例会6月会議
- ▼一般会計補正予算（第2号）
- ▼国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
- ▼介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

## 条例

- ◎定例会6月会議
- ▼白老町まち・ひと・しごと創生基金条例の制定
- ▼特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定
- ▼議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定
- ▼白老町税条例等の一部を改正する条例の制定

## 人事

- ◎定例会6月会議
- ▼白老町監査委員の選任同意
- ・野本 裕二氏（71歳・若草町）

## 報告

- ◎定例会5月会議
- ▼専決処分報告（令和3年度一般会計補正予算（第15号））
- ▼専決処分の報告（国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定）
- ◎定例会6月会議
- ▼令和3年度白老町一般会計繰越明許費繰越計算書
- ▼令和3年度白老町立国民健康保険病院事業会計繰越計算書
- ▼白老町が出資等をしている法人の経営状況説明書の提出

## 工事契約

- ◎定例会6月会議
- ▼工事請負契約の締結 萩野小学校大規模改修（建築主体）Ⅱ期工事（外部第1工区）
- ・契約金額 1億1165万円
- ・契約相手 鈴木ホーム・西村・谷特定建設工事共同企業体
- ・落札率 97・7%
- ▼例月出納検査の結果報告
- ▼委員会所管事務調査の報告
- ・産業厚生常任委員会
- ・広報広聴常任委員会

## 財産取得

- ◎定例会5月会議
- ▼取得財産 大型特殊重機1台
- ・取得予定金額4603万5000円
- ◎定例会6月会議
- ▼取得財産 高規格救急自動車
- ・取得予定金額2304万5000円

## 発議案等

- ◎定例会6月会議
- ▼議員の派遣承認

## 意見書

- ◎定例会6月会議
- ▼高齢者の医療費窓口負担の原則1割の継続を求める意見書
- ▼環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化のさらなる推進を求める意見書
- ▼森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書

## その他

- ◎定例会6月会議
- ▼北海道市町村総合事務組合規約の変更
- ▼北海道市町村職員退職手当組合規約の変更
- ▼北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症の流行に、有効な対策が取れているとは思えないまま2年半以上が経った。緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が北海道にも何度も発令され、マスクの着用、不要不急の自粛に終わりが見えない。

そのような中で全国的に常に問題とされるのが、感染者の増加による「医療崩壊」、「医療逼迫」である。十分な数の病院があるように見えるが？

白老町立病院の新築のための病院住宅解体工事もいよいよ9月には始まる予定で、令和6年春の開院を目指してスタートする。新しい病院には、発熱患者等のための発熱待合室、隔離処置室と感染隔離個室も2室設置される。さらには、大規模地震などの災害時においても病院機能を維持できる施設を構築し、津波による被害を想定した強度のある外壁及び防潮扉により院内への浸水を阻止。屋上には地上から階段で避難を可能とし、緊急時には1000人収容できる広場を設ける。町民の生命を守る病院、公設公営の力を発揮し、町民に信頼され、頼られる病院を目指して、職員は「タマシイ」を吹き込み、町民は信頼と協力の中で2年後の開院を迎えたい。

（7月13日 記 大測 紀夫）